World Vision
この子を救う。未来を救う。



ケニア共和国
キアムボゴコ地域開発プログラムのご紹介
(KEN-185647)

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えられるよう、チャイルドが住む地域を支援するプログラムです。チャイルドが住む地域と、現地でワールド・ビジョンが実施しているプログラムについてご紹介します。

地域の課題



支援地域の小学校の様子。学習環境の改善が課題です



支援地域の一般的な住居の様子

教育

- 日常生活を送る上で十分な読み書きができない11～13歳の子ども **52.7%***
- 教育環境が整っておらず、教育の質が低い
- 保護者の教育に対する意識が低く、家計を支えるため、学校に通えない子どもが多い

子どもの保護

- 子どもを大切にするという考え方が根付いておらず、虐待や搾取の犠牲になる子どもが多い

*2017年時点



国情報

ケニア共和国

アフリカ大陸の東に位置し、南東部はインド洋に面しています。国土は日本の1.5倍ほどの広さで、大部分は標高1,100～1,800mの高地です。キクユ族、ルヒヤ族、カレンジン族など40以上の民族が暮らしています。旧イギリス植民地で、公用語はスワヒリ語と英語。宗教は、伝統宗教、キリスト教、イスラム教が主流です。教育制度は、就学前教育、初等教育（8年）、中等教育（4年）、高等教育（4年）で、義務教育は初等教育の8年間です。

地域情報

キアムボゴコ 地域開発プログラム

支援期間： 2007年～2031年
*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都ナイロビから北西へ約70km、車で約2時間の場所に位置する、ナクル県ギルギル郡エレメンタイタ地区にてプログラムを実施しています。支援地域は、植民地時代にイギリスに接収されており、1963年の独立後に各地から住民がやってきて再定住した地区です。このため、支援地域では16の民族が暮らしており、スワヒリ語、キクユ語、マサイ語など複数の言語が使用されています。小雨期（11～12月）と大雨期（3～5月）の年2回雨期がありますが、安全な水の確保が困難なことが大きな課題です。

地域の課題

教育

住民・保護者の教育に対する意識が低く、学校に通うことが出来ず、家の手伝いをしている子どもがいます。また、早婚などの慣習により学校を辞めなければならなくなる子どももいます。学校に行っても、校舎や机の不足など学習環境が整っていなかったり、教師や教科書が不足していたり、十分な教育を受けられないケースもあります。

子どもの保護

支援地域では、法律で定められた年齢以前の早婚（主に女子）や女性器切除といった慣習が根強く残っており、子どもの権利を認めて大切に育てるという考え方が根付いていません。このため、虐待や搾取の犠牲になる子どもが少なくありません。

WVが行う支援活動

- 教師への教授法の研修
- 教育の重要性に関する啓発
- 学習環境の改善



地域の子どもたちが継続して教育を受けられるよう支援を行います

- 地域のリーダーへの子どもの権利と保護に関する啓発
- 虐待予防のための住民組織や宗教指導者との連携強化
- 子どもたちへのライフ・スキル*研修

(*問題解決、対人関係、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術)



子どもたちの権利と安全が守られるよう、住民への啓発活動を行います

支援はチャイルドの生活を変える力となります



スーザンちゃんが通っている学校は、泥でできていて木の下にありました。屋根も扉もありませんでした。環境が悪かったため、多くの子どもたちが病気になり、学校に来なくなっていました。

ワールド・ビジョンの支援を通し、新しい校舎が建設されました。おかげで、スーザンちゃんは改善された学習環境で勉強に集中できるようになりました。

ワールド・ビジョンは、スーザンちゃんのような子どもたちが教育を受け、夢を持って成長できるよう、支援活動を行っています。

チャイルドの「今」を、あなたの毎日に。
マイ チャイルドをご利用ください

チャイルド・スポンサー専用サイト「マイ チャイルド」では、スマートフォンやパソコンから
チャイルドや支援地域の写真・動画・成長報告などをいつでも確認できます。
またオンラインで手紙を簡単に作成でき、チャイルドを身近に感じられます。

ご利用にはアカウント作成が必要です。右のQRコードからご登録ください。

公式SNSでは、世界の子どもたちをとりまく情報を発信しています。
ぜひ「いいね！」や「シェア」をして、お友だちにご紹介ください。

FACEBOOK
@worldvisionjapan

Instagram
@worldvisionjapan

X
@WorldVisionJPN

特定非営利活動法人　ワールド・ビジョン・ジャパン

World Vision
この子を救う。未来を救う。